



ジモティー<7082>、カルチュア・コンビニエンス・クラブによるTOBで株式を非公開化



オンライン掲示板「ジモティー」を手がけるジモティーは15日、同社に対してレンタル店「TSUTAYA」や書店「蔦屋書店」を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC、横浜市）がTOB（株式公開買い付け）を行うと発表した。

「ジモティー」はさまざまな情報を都道府県別や市町村別に一覧化したプラットフォーム。これを発展させる形で、地域の自治体と連携して不要品引き取りなどを行う実店舗「ジモティースポット」を運営している。CCCの傘下に入ること、で、「ジモティースポット」の全国展開に向けた事業基盤の強化などを目指す。

ジモティー株の買付価格は1株につき1420円で、TOB公表前日の終値884円に60.63%のプレミアムを加えた。買付予定数は983万9972株。下限は所有割合66.7%にあたる656万株。買付代金は139億7200万円。

買付期間は5月18日～6月29日の31営業日。決済の開始日は7月6日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

筆頭株主のNTTドコモ（所有割合18.76%）、第2位株主のプロトコーポレーション（同12.39%）、第3位株主でジモティー社長の加藤貴博氏（同10.36%。新株予約権を一部含む）はそれぞれ所有する株式をTOBに応募する。

CCCはジモティーを完全子会社化した後、ジモティーの経営に引き続き関与する予定の加藤氏に10.36%の株式をTOB価格と同額の1株当たり1420円で譲渡することになっている。

ジモティーはTOBに賛同を表明し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証グロース市場への上場は廃止となる。

ジモティーは2011年に設立。2020年に東証マザーズに上場した（2022年4月東証グロースに移行）。